

成年
コミック

ツヤゲシキ

跳馬遊鹿

ANGEL COMICS
Presented by Toba Yuga

色景色



CONTENTS

カラーイラストギャラリー 3

艶景色 交わる夏夜 7

艶景色 深雪にとける想い 31

艶景色 結城文葉の妄想の世界 57

艶景色 初めての露出は早春に 69

艶景色 滴る雨雲 91

吐息恋慕 朝も夜もこの島で 第1話 113

吐息恋慕 朝も夜もこの島で 第2話 135

吐息恋慕 朝も夜もこの島で 第3話 161

不倫旅行 澤 After story 187

コミックス特別描き下ろし漫画 208





カラーイラストギャラリー









あっ…
こら…

匠とお祭り一緒に
行ったの久しぶり
だったし

子供の頃みたいに
色々ねだられるかと
思ってたのに

俺が欲しいのは
佑衣子さんだけ
だから！

何もいらな
かったの？

豊色景色

Tsuyagesiki

— 交わる夏夜 —

毎夏遠方から
独り身の私の元に
やってきてくれる
甥の匠と

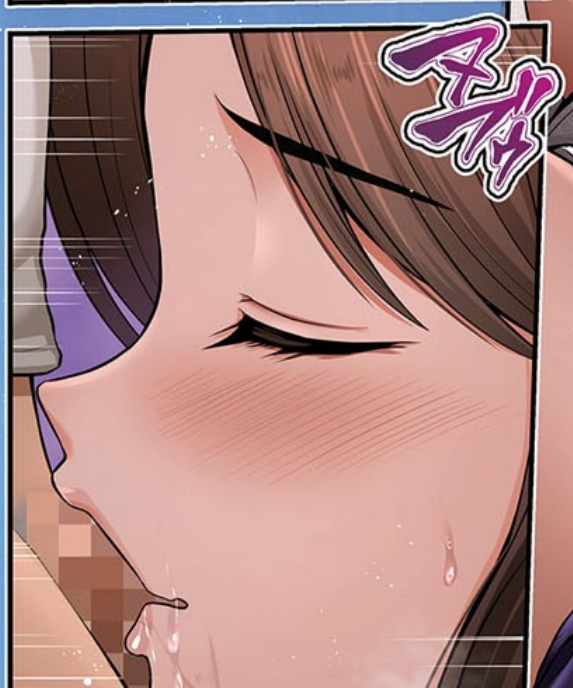
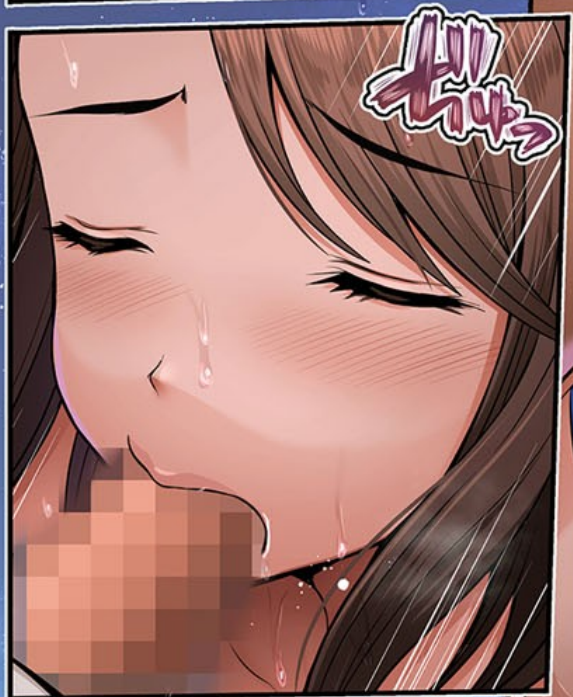
家まで我慢
できないの？

誰も
来ないよ

身体を重ねる
ようになったのは
去年の事だった！



可愛い甥が一生懸命
私を求めてくれる
姿が愛おしくて！



ずっと夏が続けば
いいのになんて我儘な
事を考えてしまう！



あっ♡

あっ…

佑衣子さん…
もう我慢
できないよ

アッ

ズッ

アッ

あっ♡
あっ♡
あっ♡

アッ



はぁ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

はぁ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

いあ♡♡

二十歳になった匠
—そして私は

今年の夏も
ひとつになっ—

一年前

瀬 家の海

佑衣子ちゃん
店終わったら
二人で飲み
行こうやあ

バツイチで
毎晩寂しい思
してんだろお？

男なんて
コリコリよ

夫の浮気が
原因で離婚して
何年になるかな

それに夏休みの
間は学生の甥が
泊まりがけで手伝
いに来てくれるし

寂しくなんて
ありません

寂しくないなんて
強がりだけど

夏になると
この海の家は賑わうし

ねえ匠♪

よ…
佑衣子さん
恥ずかしいよ

何より今日二十歳になった
ばかりの匠は

毎年夏休みの間
遠方から来てくれる…
とても幸せだわ

匠 お誕生日
おめでとう

それじゃあ
乾杯！

毎年匠の
誕生日を二人で
お祝いする

私にとっても
かけがえのない
大切な日

ずっと匠と
お酒飲めるの
楽しみだったんだ

う…ん
変な味だね

でも佑衣子さんと
飲むの俺も
楽しみだったから
嬉しいよ

どう？
美味しい？

もうっ可愛い
甥っ子だね！



佑衣子さんが
こんなに酔うの
初めて見たよ

楽しくって
ついね

家まで遠いのに
悪いわねえ
重いでしょ？

そんな事
ないよ



このまま今夜は
子供の頃みたいに
一緒にねよつかあ

え...そ...
そんな

いいじゃない
たまには



こんな子が
私の子だったら
きつと幸せだらうなあ



私に覆いかぶさる
匠の身体は男の
それで

ねえ
佑衣子さん
いい...?

……
匠も大人の男
だもんね…

……
いいわ
おいで

でもその瞳は
おっぱいを
欲しがら子供
みたいで

一生懸命に
私を求める
その姿に

理性とは裏腹に
匠を受け入れて
しまった…

あー

せーな

アッ

アッ



すく
荒い腰遣い

きつと初めて
なのね



でも…
その初々しさが
可愛らしくて



すく子宮が熱くなる…



その翌日
から...

瀬

佑衣子ちゃん
今日もエロい身体
してんねえ

匠は仕事中に
お客さん
嫉妬すると

もう...
またしょうもない
事はっかり言つて

.....
っ

せつ

さす..

私に
イタズラを
するよう
になった

アッ

それがまた
可愛らしくて
すごく興奮して
しまう

ぬる



隙あらば身体を
求められる日々…



毎日…まるで
若いカップルの
ように



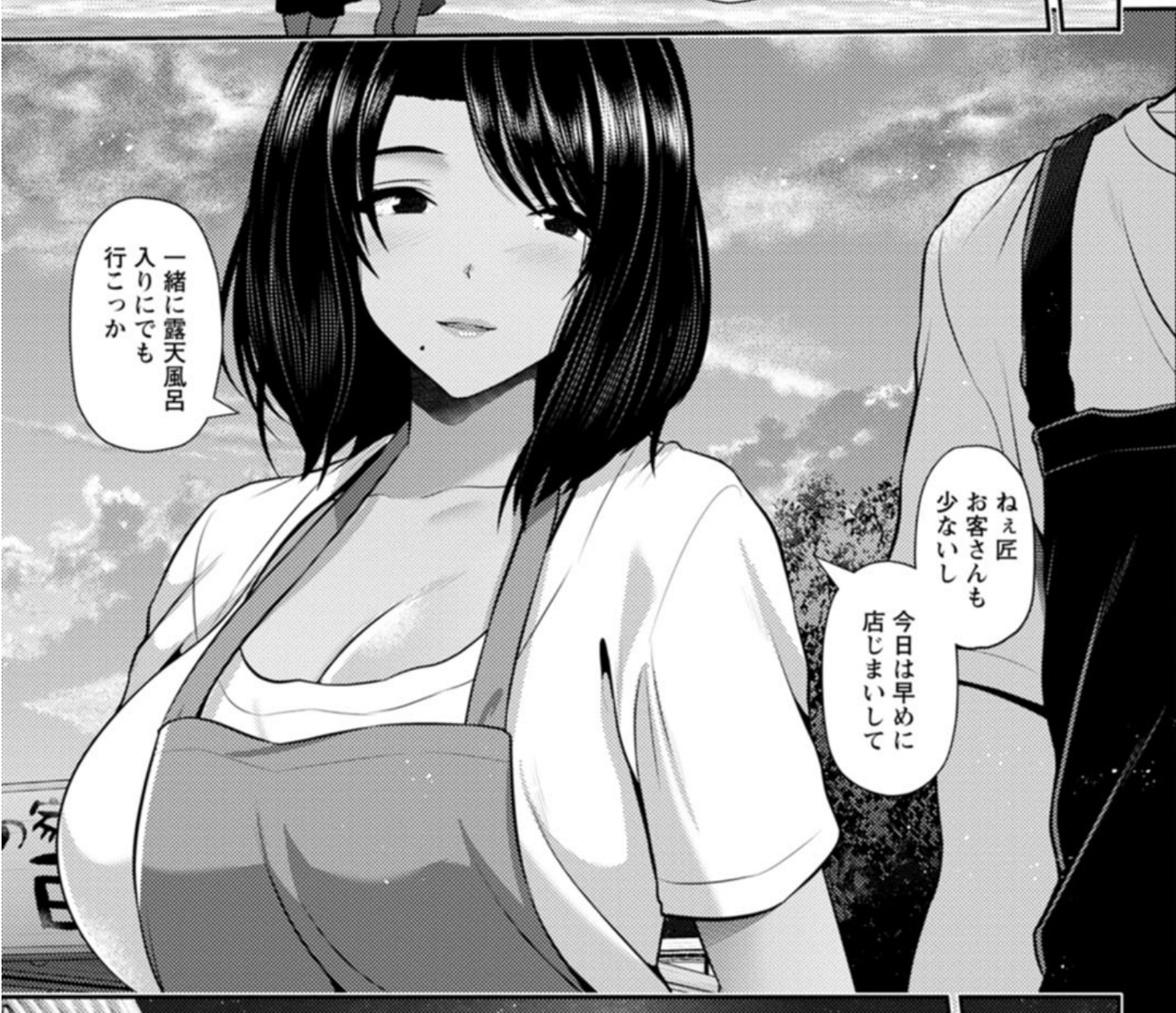
少しずつ匠は
行為も上手くなって
それがまた愛しくて

匠と目が合うだけで
私も我慢できなくなっていた



佑衣子さん…

そして
あつという間に
匠の夏休みが
終わる日が来た
もう夏も
終わりね…
今年も
匠ともうすぐ
お別れか…



一緒に露天風呂
入りにでも
行こっか

ねえ匠
お客さんも
少ないし
今日は早めに
店じまいして



すごく景色がいい
隠れスポット
なのよ

夏休みが終わったなら
学生をしている匠とは
またお別れ！





お別れする前に
もつと匠との
快楽を心と身体に
刻んでおきたい



誰か来たら
どうするの？

夏の終わりの
この時間なら
誰も来やしないわ





忘れられない
ような思い出に
したい

誰かに見られる
かもしれないような
場所に連れ込んで

佑衣子
さん…っ

激しくして
欲しくなっ
ちやった…

あーん
あーん



それじゃあ
激しくしよう…
今までで一番っ！

アッ

アッ
アッ

佑衣子さんも
いっぱい声
聞かせてっ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ

佑衣子
さん…っ！

匠…お願い
今日は中に
出してえ

いっぱい
いっぱい
中に頂戴っ！





こんな
おばさん相手に
何言ってるの

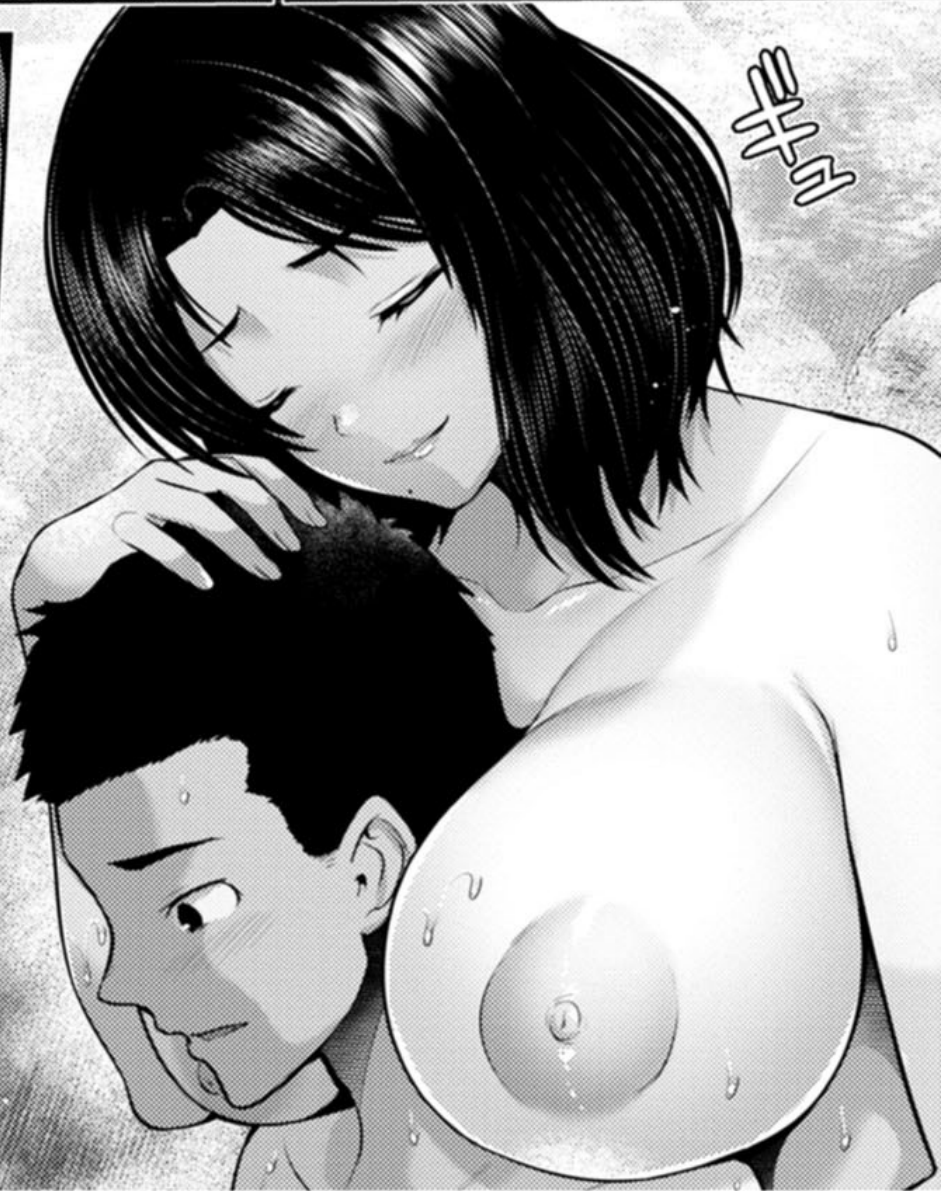
だから
来年も来るよ
その次も…
ずっと



俺…子供の頃から
ずっと佑衣子さんの
事が好きだったんだ



今夜があるのに
お別れいうのは
早いでしょ



来年もいっぱい
思い出作ろうね

終



豊色景色
TSUYAGESHIKI



毎週金曜
閉館までの数時間

司書が俺一人の
時間帯にやつてくる
結城さんだけ

片田舎にある
図書館の利用者は

雪か…
今日みたいな日は
いつも以上に静かだ

そんな彼女が
借りる本は
官能小説

艶色景色
TSUYAGESHIKI

— 深雪にとける想い —

彼女が借りた
本からはうつすら
桃のリップの匂い

冬の旅館
旅先で出会った学生と湯けむりで
二〇〇一年一月一日

貸出カード
冬の旅館
借主
1/25
1/25
結城文策

初めて図書館に
彼女が来てから
もう半年か

官能小説の
タイトルが
書かれた

あ…あの…
司書さん…

これ…お願い
し…します

貸出希望紙を
渡された時は
驚いたな

館の規定では
貸し出せない
本だったけど

かしだしきぼうようし
貸出希望紙

貸し出しを希望する本
官能の世界を夢見て

貸し出しを希望する理由
官能小説家になる
勉強の為です。

その理由と
赤面する顔を見て
断る事も出来ず

個人的に買った本を
館の蔵書と偽って
貸してあげて以来

毎週末
官能小説を借りに
くるようになった





しかし
隔離された
空間に男女
二人きりなんて

カチ



…寝たのか



まるで官能小説の
中に迷い込んだ
みたいだ



……



俺も
寝よう

…なんて
聞かれたら
セクハラか



ん…何だ…

はあ

あん

はあ

あ…

すく



吐息…

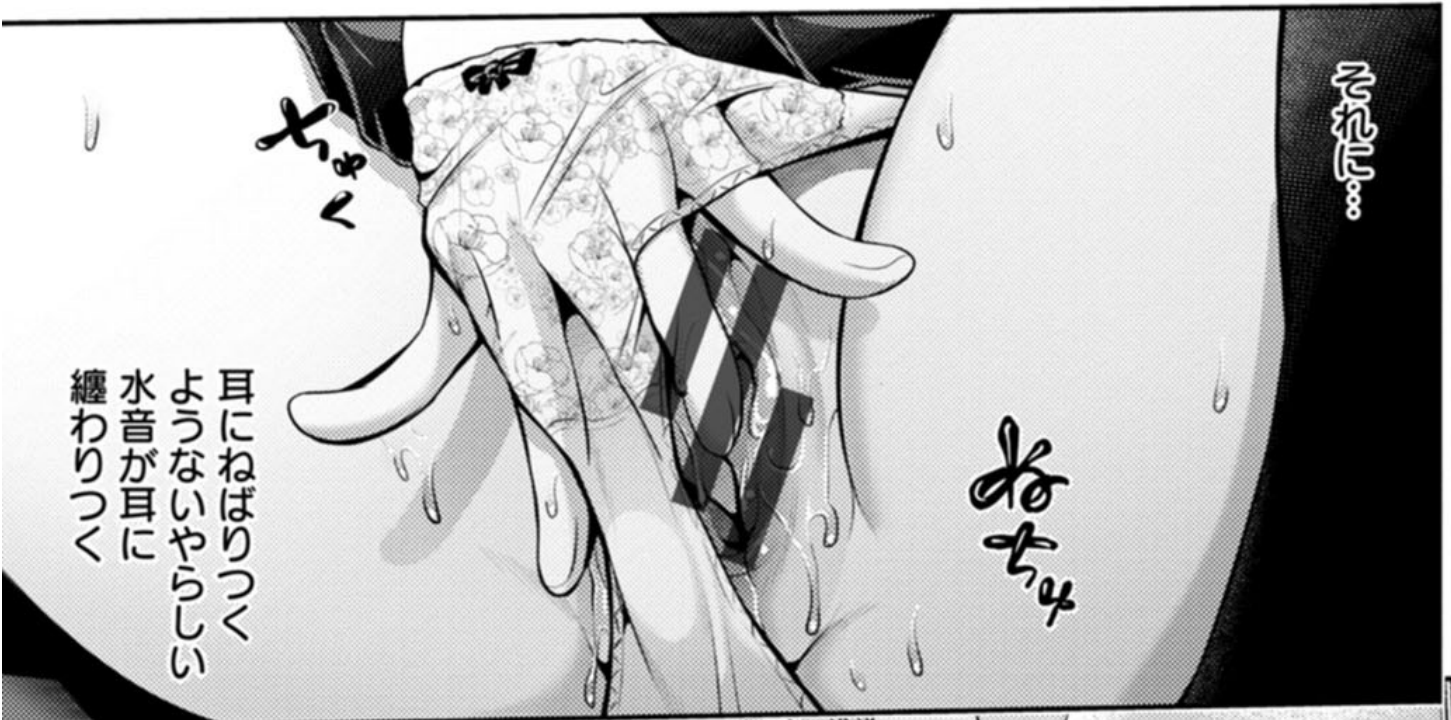
ん…

はあ

あ…んっ

はあ

漏れ出るような
小さいけど
艶っぽい声



そわ…

おち

ちゅ

耳にねばりつく
ようないやらしい
水音が耳に
纏わりつく



ちゅ

ちゅ

まさか…

結城さん
官能小説を
読みながら

……ん

ああん

自慰を……



起きてる事が
バレたら彼女を
傷けてしまう



バレないように
寝たふりを

んっ

ああ
あん

はっ

はっ

高鳴る心音が
聞こえて
しまいそうだ

んっ
んあ

でも官能小説の
ワンシーンの
ような情景に

イク…
イクイク…

司書さん…
イっちゃう…

おっ
おっ

おっ
おっ

でもなんで
俺の事を

待って
ください

色々な感情が混ざり
あったその顔は

あ…いや
へ…変な夢を
見ちゃって

思わず
ビクついて
しまった！

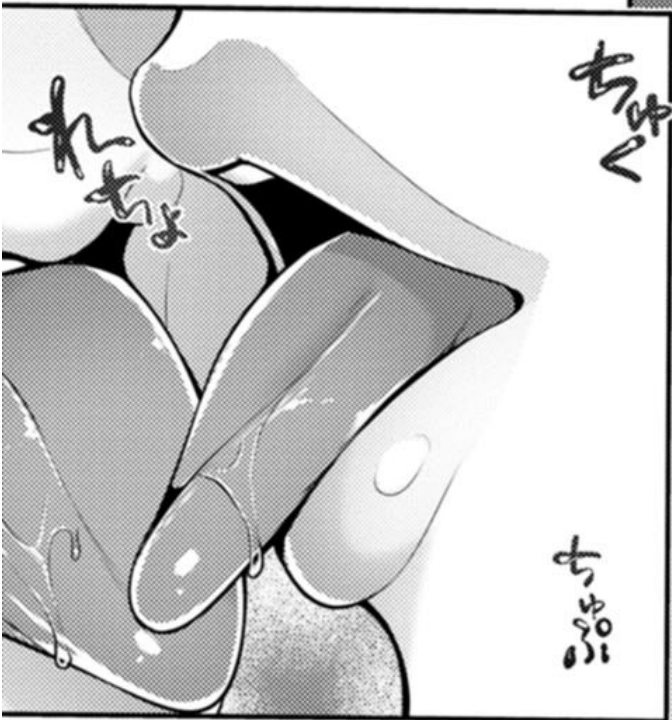
ト…
トイレに

とにかく
この場を
離れないと

司書さんの

官能小説みたいって
言葉に我慢できなく
……なって

何かを求めている
ように……





ん…

その感触と熱で
私の心臓が
全身に融けて

性の鼓動が
高鳴るの…

おにゅ



…司書さんの
手が私の乳房を
包み込む

おにゅ

羞恥の源泉を
刺激されて…

これから
される事を
期待しちゃう

おにゅ



や…ダメ…
快樂の波が

私を絶頂の海へ
飲み込んでっ



ぬらつく蜜壺に
入ってくる指を…

ぬち
その指を靡熱で
溶かしてしまっ
そう



しまうのお!



恥ずかしくて
たまらないのに

…こんなに
羞恥を
さらして
はあ



はあ

はあ



おっ
おっ

俺の理性は
飲み込まれる

そんな事
どうでもよく
なるくらい…

司書さんの…
へ…ペニスを
飲み込みたくて…

はあ

はあ

だ…だから…
して…ください
……

結城さんの
求めるような
その視線に

ああ
ああ

せ
く
す

あ
あ

媚肉の中で
脈打ってる

し……
司書さんの
ペニスが……

ペニスが……
秘裂に出し入れ
されるたび

溢れる悦びで
溺れてしまい
そう……

あゝ

あゝ♡

おっ
おっ
おっ

アッ
アッ
アッ

はあ

はあ

はあ

はあ

恥ずかしいけど
気持ちよわい

せな

おかしく
なりそうに
なりながら

初めてなのに
快楽に溺れる
淫乱さを
抑えきれない
私の身体…

それでも
描写を続ける
健気な姿が
愛すぎる…っ

わたしは…
わたしはあ



もう…
ただの雌
なのお…

わたしは…

はっ

はっ



彼女の羞恥の泉は
まだまだ溢れる事を
やめない







彼女の脳内では
描写が続いて
いるのだろう



ねえ
結城さん

今度は君が上にな
って喘ぎ声を
聞かせて欲しい



…わかりました

描写を
していない時は
無口だけど

その顔は…
ほうえつ
法悦に浸るかの
ように

あ
ん
ん

悦びに満ちた
顔をしている

あ
ん
ん

あ
ん
ん

あ
ん
ん

あ
ん
ん

あ
ん
ん

あ
ん
ん

きっと彼女は
本当に官能小説が
好きなんだ





私…の中に
司書さんの欲望…
ください…

今まさに憧れの官能の
世界にいる彼女は
抑えがきかない…

はあ
ください…



朝まで行為を
続けた後

疲れ果てて
ほんの少し
寝ると

初めて本を
渡した日を
夢にみた

結城さん
先週言ってた
本だよ

こういう本の
担当は僕だけ
だから

返却する際は
僕に直接渡して
くれるかな

変質者とも
思われそうな
言い訳をした俺に

……
ありがとう……
ごさい……ます

彼女は
微笑んでいた



また本を
借りにきてね

……



そして朝になり
迎えがきた

結城さん



彼女はまた無口な
姿に戻っていたが

かしたしきぼうようし
貸出希望用紙
か 貸し出しを希望する本
司書さんと
もっと官能の
世界に浸りたいです
だ 出しを希望する理由
好きだから…

……
これ…



溢れ出る心の声が
俺には聞こえるよう
だった

終



豊色景色
TSUYAGESHIKI

雪深い
山の中の
温泉地に

司書さんと
二人で逃
避行
だなんて

お背中
流し
し
よう
か

ドキ
ドキ
し
ち
や
い
ま
す
ね

文
葉
ち
ゃ
ん
…

艶色景色
TSUYAGESHII

— 結城文葉の妄想の世界 —



文葉ちゃん
恥ずかしいよ

ふふ…
二人きりだし
いいじゃない
ですか



とっても
大きな背中
素敵です



司書さんも
私でドキドキして
くれているんですね



司書さん
大好きです…



うれしい…

こうして
二人で温まって
いられるだけで

すごく幸せ
感じちゃいます



二人きりだからかな
今日はいつもより
大胆な気分です



私の胸の感触
もっと愉しんで
ほしい



ほら…
こうして

ふにゅ

おっぱいで
司書さんの
ペニスを
包み込んで

おにゅ

どうですか？
気持ちいい
ですか？

蕩けそう
だよ…

ぐにゅ







あっ

あぁあん

だっ

だっ

だっ





ああつ

びしょ

司書さんの
ペニス

私の膣内を
快楽で溶かして
いくの♡

びしょ

びしょ



もっと激しく
私を犯してえ♡

司書さん
好き♡

私と一緒に
イってえ♡

あーっ
あーっ
あーっ



雪は降り積もり
二人きりの夜が
訪れる…

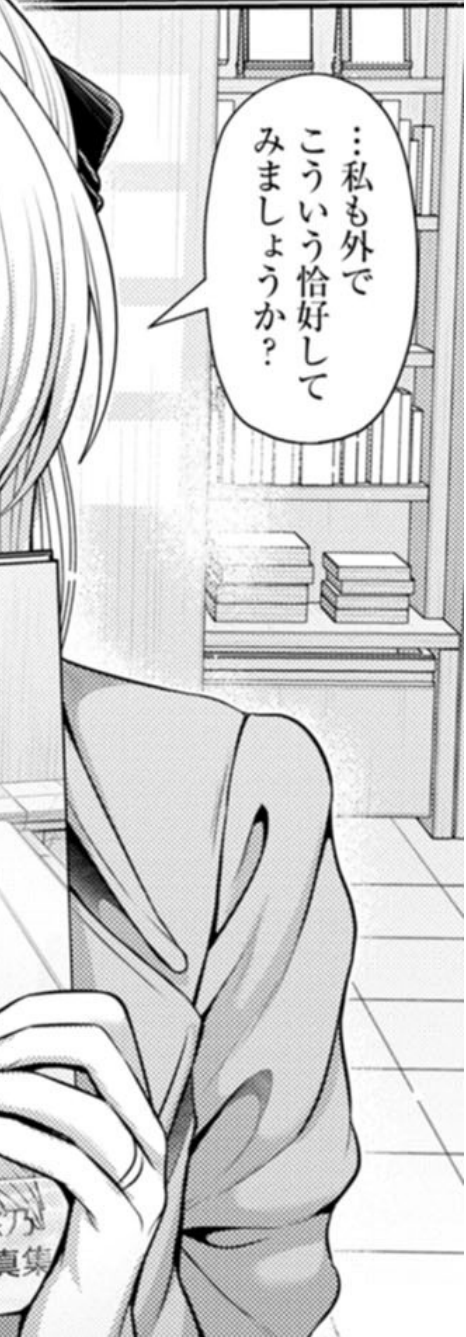
終





豊色景色
TSUYAGESHIKI







ほら駅に着きましたよ



でも…

だから…
少しだけミアに
付き合って？



すっごく
スリリング

今日は人の
目線ばかり
気になっちゃう

ズル



本当に
露出なんて
するつもり？

ぞん



ぞん

いつもは景色に
目を奪われてる
のに

ミア!!



どうしましょう
ミアったら

こんな
解放感初めて

露出するの
好きかも
しれません



変態なミアの事
嫌いになっちゃい
ましたか？

…むしろ
ますます
虜になったよ

桐矢…
これ

なか
腔内に挿つて
るモノのスイツチ
です

桐矢ももつと
ドキドキして



ミアの
痴女っぷりを
もつと観たく
なってきた

やつ…
すごい…

街中で
こんな事
してるなんて
信じられない

ここ数日
忙しくてセックス
してなかったし

すごく敏感に
なってるんだろ

ここでイって
みせてよ

フッ
フッ
フッ
フッ

あ…っ
あああっ

んんっ
アッ

おっ
おっ
おっ



こんな街中で
イっちゃい
ましたあ♡

ハッ

ハッ

4E00





誰かに見られる
かもって
緊張感が

うふふ
すごく興奮
するでしょ



貴方も
溜まってます
よね？

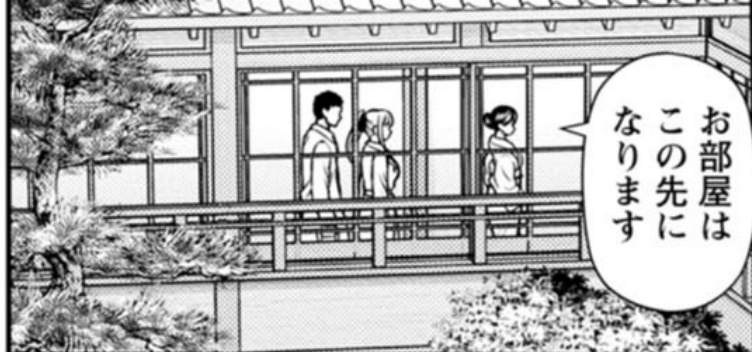


確かに…
すごく
興奮する



インモラルな
感覚を呼び
起こしませんか





お部屋は
この先に
なります



本日は
当旅館へ
ようこそ



ここから
見える風景
素敵ですね

ここで桐矢と
外を眺めて
いきたいです

それでは
何かありましたら
フロントにご連絡
ください



ミア お部屋まで
我慢できません

だからここで
しましょう



部屋で続きを
したいんじゃ…



ダメ...っ
いきなり
そんな激しくっ

あっ

やっ
ダメえっ

ミアがここで
したいって
言っただろ

あ…んっ…

はっ

ビュッ

ズッ

いつも以上に
吐息が激しい
じゃないか
誰かにこんな
恥ずかしい姿
見られるかも

ビュッ
ズッ

ビュッ

やあ…
ああ…んっ

やっ

はあ

なんて考えて
ずっと興奮してた
んだろ？

あっ…イク
イっちゃう
からあっ

んっ
ふああっ

はあ

俺も我慢
できない…!

イク
イクウ!!

イクウツ







こんなに
興奮したの
初めて♡

でも声を
抑えるの
限界です

今度は
いっぱい声
だしたい♡



山茶花の間

スリリングな
状態から
解放されたから
でしょうか…

あぁん

おっ

おっ

すごく敏感に
なっちゃう…っ



あー
だめ

アッ

アッ

あー
あー

アッ

あー
あー

はげしい
あー

アッ

アッ





色々と思い出に残る旅だったね

桐矢があの写真集に鼻の下を伸ばしてたから

嫉妬でちよつと露出するだけのつもりだったのに

スルッ

ハマっちゃんいました

ミミ：ミア!?

次の旅が待ちきれないです♡

旦那様♡

終



豊色景色
TSUYAGESHIKI

悠乃さん
準備いい？

うん 南雲君
三日間
よろしくね

じゃあ…服
どうしよつか

えと…まずは
雰囲気掴むため
にそのままで

艶景色

TSUYAGESHIKI

— 滴る雨雫 —

大学の映像研で
彼女を撮影してた
頃と変わらず
今も綺麗だ

彼女が大学を
卒業した後

女優になったと
聞いたときは
嬉しかったな

そんな人の
又いど撮影なんて…

カメラマンに
なった俺に
所属事務所から
依頼が来た時も
数年ぶりの
再会にワクワク
したのに…

女優として
ばっとしてない
からって

ひどい
理由だよ

ヌード
撮影…?

事務所から
聞いてなかつ
たんだ

でもそれなら
カメラマンしてる
南雲君につて

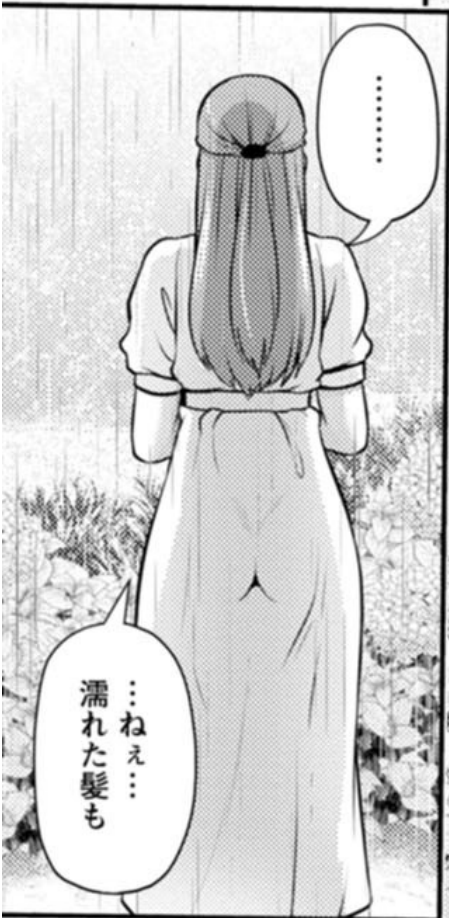
無理言つて
お願いしたの

久しぶりに
会いたかつた
し……



あ…雨

濡れちゃい
ますよ



……

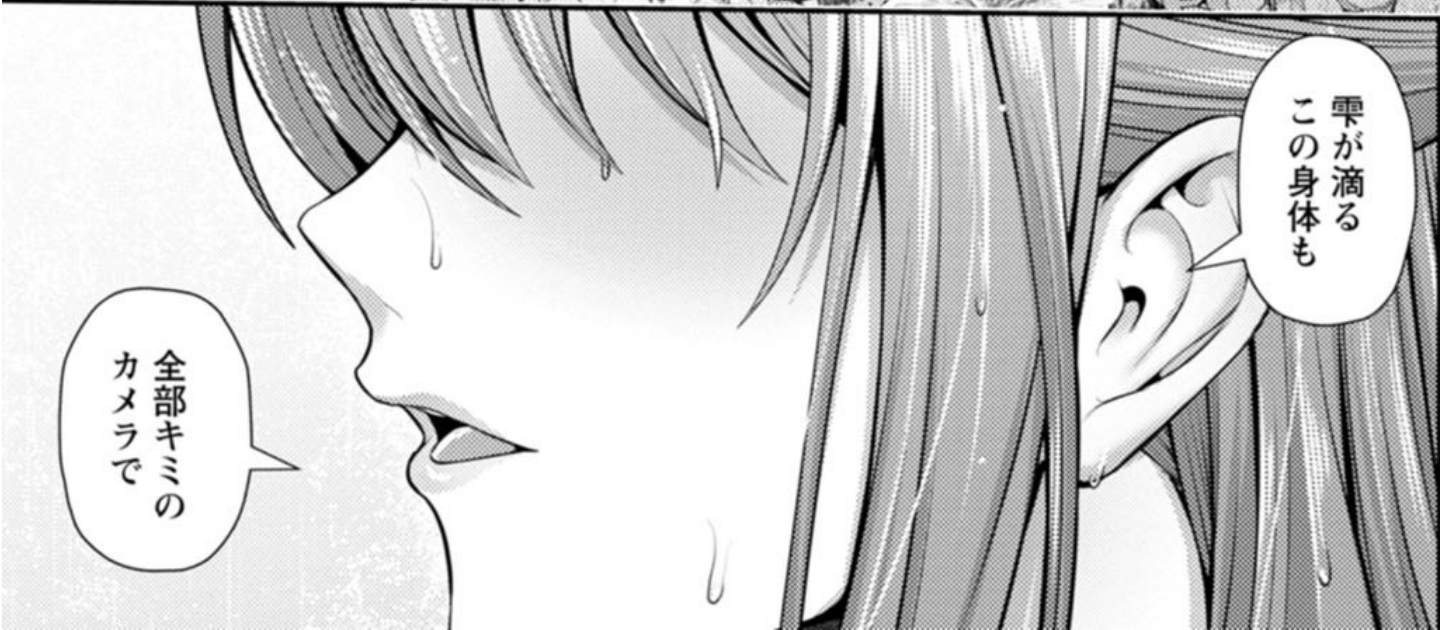
…ねえ…
濡れた髪も



きつと
脱いだりしたく
ないんだろうな

ポッ

経費を抑えたい
からってスタッフも
なじで二人きりだし
ひどい事務所だ



雫が滴る
この身体も

全部キミの
カメラで

撮ってほしいの





女優として
ばつとしない
ままで

女優としても
最後の撮影かも
しれない

最初は落ち込んで
いたけど



これがね
事務所との
最後の仕事…



久しぶりに
すごく…
ドキドキして



キミに会って
キミに私の全部
撮られるって
思ったら



気弱になつて
相手につけ込む
みたいだけど…







南雲君
私ね

このまま消えても
後悔しないくらいの
写真を残したい

だから…
この撮影の
間だけでいい

キミを
見つめる
表情も

私の事恋人だと思
って接して
ほしいの

そして
全部撮って

恥ずかしい
姿も全部…

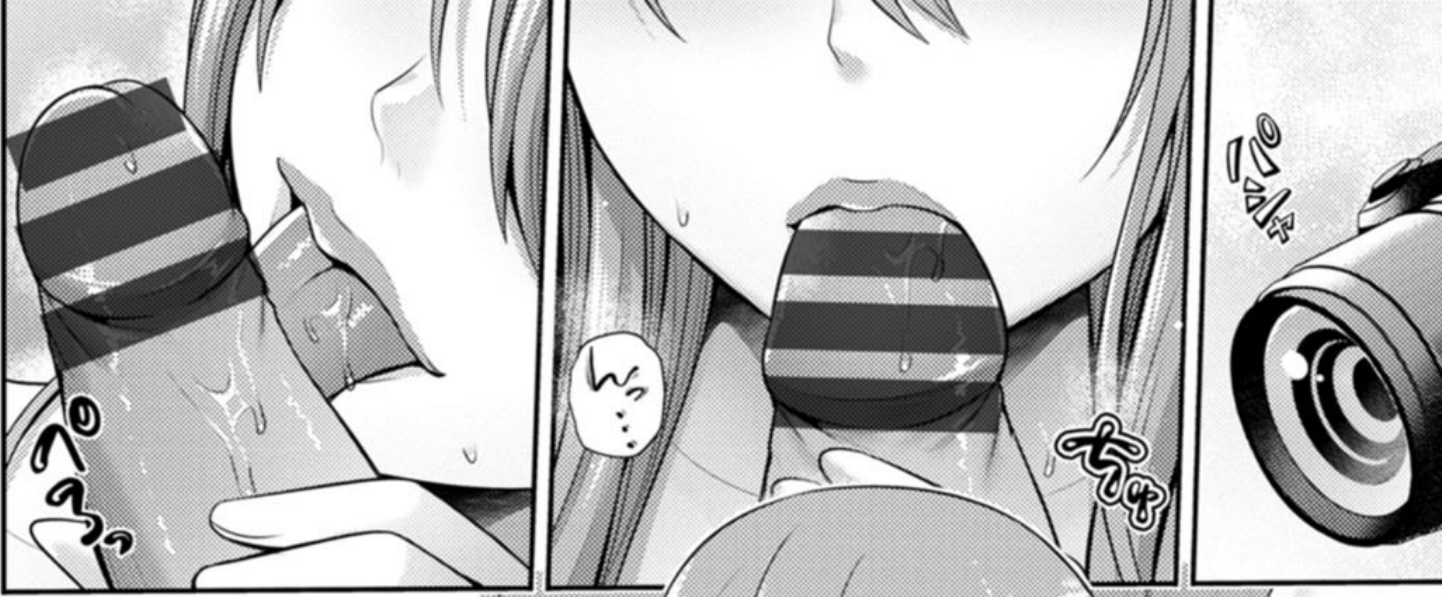
悠乃さんの
想いを写真に
残したい



悠乃さんの
想いを受けて

限られた時間の中









そして
あっという間に
三日目の夜を迎えた…



あ
ん
ん

ねえ…
キミの顔を
瞳をもっと
見たい

カメラ置いて
私の事見て

お
ね
え







はっはっは

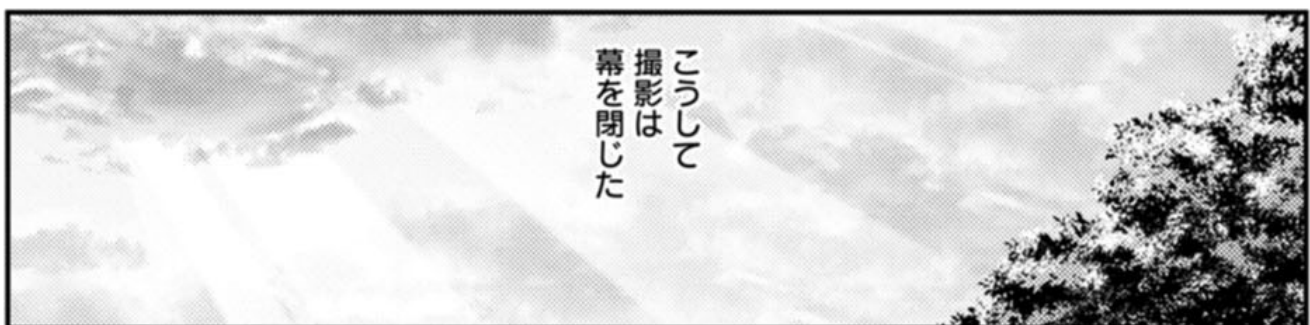
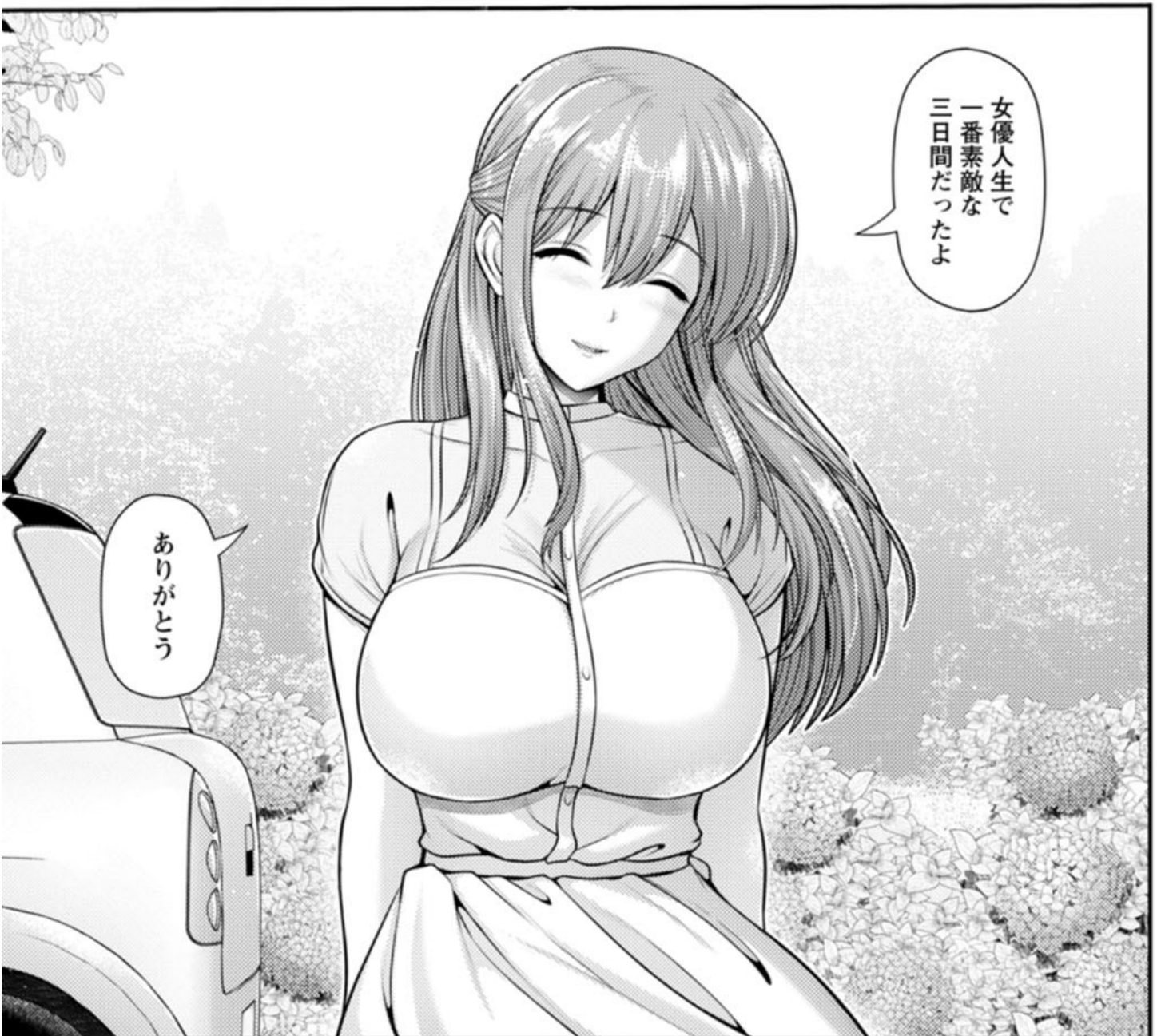
はっはっは

はっはっは

あああ
うんうん
♡♡♡

はっはっは

はっはっは



夏の日差しが
肌を焼く…

あれから
もう三ヶ月か

アシスタント兼
撮影モデルが一人

一緒にいたら
撮影してたの
キミだって
バレちゃうかな

撮影をする
俺の傍には

今日は写真集の
発売日だね

そんな目で
見られるのも
悪くないね

悠乃さんは
今日も綺麗だ

終



豊色景色
TSUYAGESHIKI



あつち
逢月ちゃん
こつち!

かなん
日南ちゃん
ちひさ
地紘くん
何年ぶりかな

二人とも
元気そうね

迎えに
来たんだ
家まで送るよ

夏休みのたびに
来ていたこの島に
住めるなんて

これからの
生活が
楽しみだわ

吐息恋慕

Toiki Renbo

—朝も夜もこの島で—

第1話

地紘
港の片付け
手伝っとくれ

逢月ちゃん
送った後でな

島民は
みんな家族

困った時は
助け合い

島 みんなの
合言葉だ

島に来るのは
お祖母ちゃんの
葬儀以来だけど

のんびりして
温かくて何も
変わらないわね

ほら！
その岩場で
遊んだの
覚えてる？

地紘君が
探検しよって
言ってた

すごく暗くて
怖かったわ

うん
洞穴がある
とこだよ

そうそう！
他にもさあ…

驚いた…家
傷んでるかと
思ったのに

昔と少しも
変わってない

逢月ちゃんの
ばっちゃんに
頼まれてんだ

島に逢月の
居場所を残して
欲しいって

だから日南と
二人で手入れ
させてもらって
たよ

本当に
ありがとう…
二人のおかげね

じゃあこの後
仕事あるから

何かあったら
いつでも連絡
してくれよな

地紘君
今日は
ありがとう

しっかりね
地紘!

おう!



バキーン

え…?

でもなんで
不便な島に
越して来たん…



逢月ちゃん
嬉しそうで
よかったな



停電か？
逢月ちゃん
大丈夫かな



地紘くん…
来てくれたんだ

お風呂
入っていたら
いきなり暗くなって
怖かったよ…

…寝巻…
透けてる…



逢月ちゃん
突然ごめん
心配でさ

よかったら
顔見せて
くれないか





ごめんね
こんな時間に

えっ!!
いや...そんな
気にしないで!!

ぎゅ

こ...怖がり
治ってなかつ
たんだ

うん...
恥ずかしい...

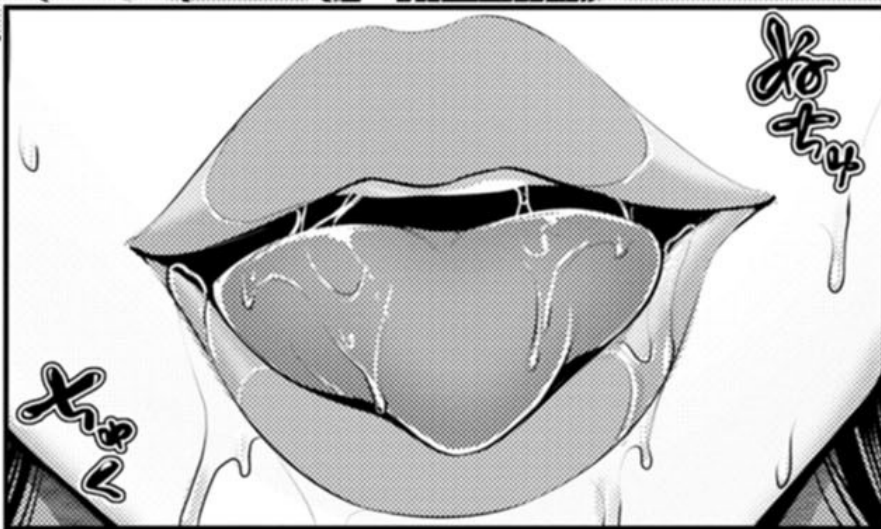
少しは
落ち着いた?

落ち着かない
のは俺のほう
なんだけど...

地紘君の
心音が
聞こえる

どろろ

どろろ





地紘君…
月が綺麗ね



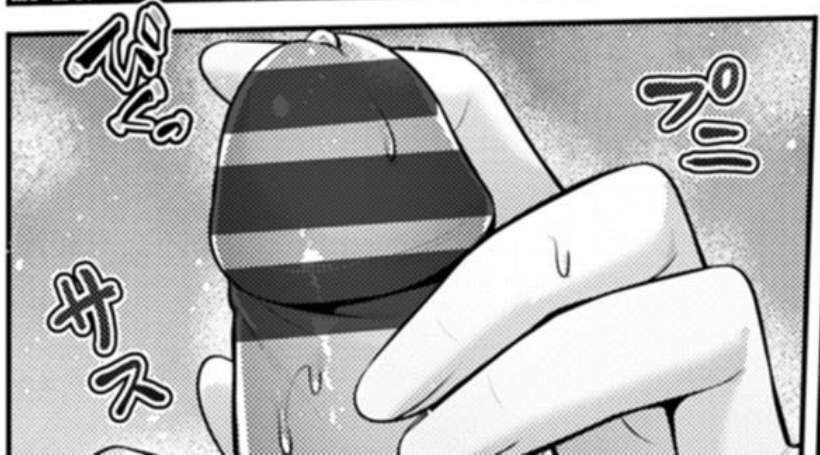
逢月ちゃん
どうして突然
こんな事...

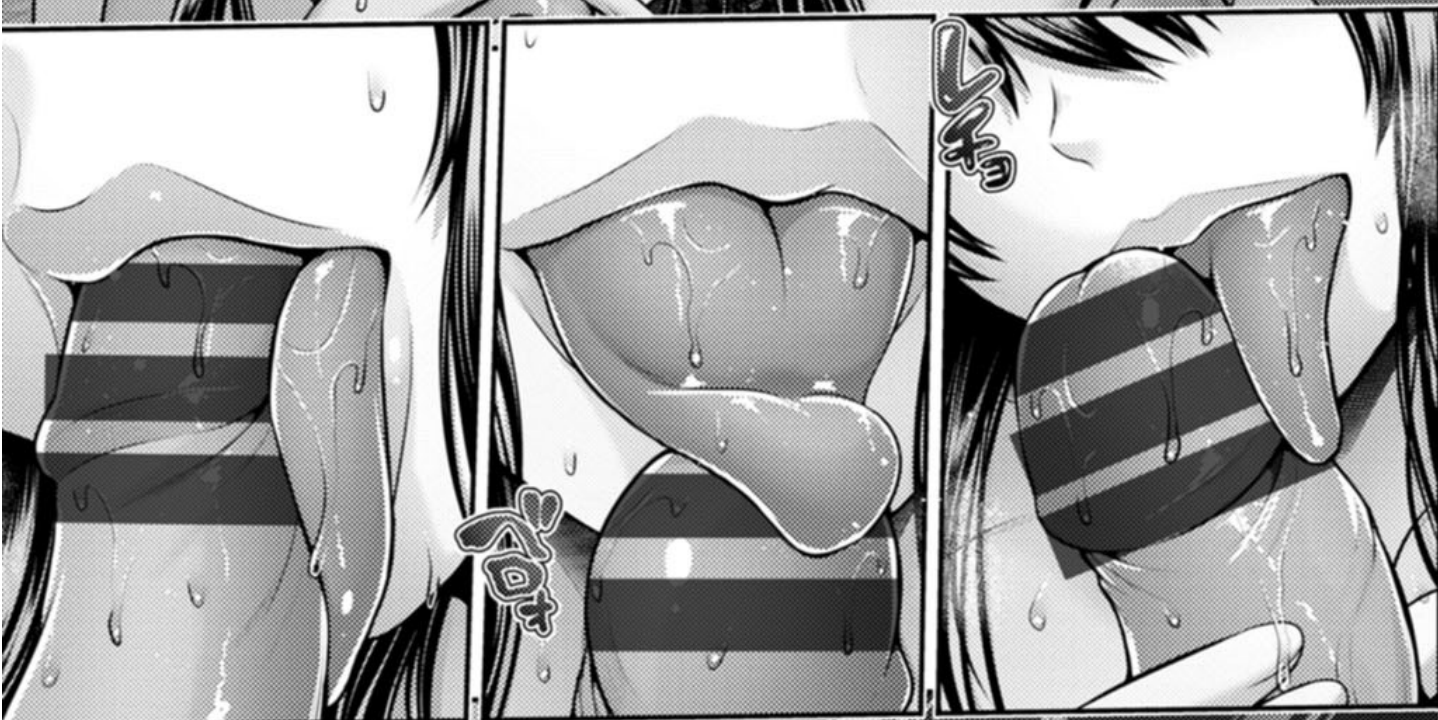
触るね

うん...



すごい
硬いんだね♡





地紘君は
エッチした
事あるの？

日南ちゃん
とかと

なっ…ないよ
日南はただの
幼馴染で…っ

ねえ…私も
我慢出来なく
なっちゃった…

そうなんだ

君の初めて
私に頂戴

アキユ



アッ

こんなの
我慢できない

あああ

はあ

はあ

ん？

おちおち



スチュ

すごく熱い
肉が蕩けてる
みたいだ

あー

だ

あー

あー

あー

ア

もっと奥まで
ついてえ♡



あぁあ

はぁ

あぁあ♡

はぁ

はぁ

じゅぽ
じゅぽって
エッチな音
もっと
聞かせてえ♡

地絃君の
おち○ちん
気持ちいい♡

はぁ

はぁ

はぁ

そのまま
出して♡

全部私に
頂戴♡

はぁ

はぁ

ああ♡

はぁ

はぁ

イクウ♡
イッちやうう♡







……ねえ
逢月ちゃん
どうしてこんな



この家以外
全部奪われ
ちゃったから



日南…



やっぱり地紘君
日南ちゃんの事
好きなの？

ドキ

そっ
そんな事…



……私ね

誰かから
何か奪って
みたくなったの



END



豊色景色
TSUYAGESHIKI

島民は
みんな家族

困った時は
助け合い

島の
みんなの
合言葉

だけど俺は
あの夜から

誰にも相談
出来ない悩みを
抱えている

え!?
どうかした
かなん
日南?

ちひろ
地紘!

また
ボーっとして
夏バテでも
しちゃったの?

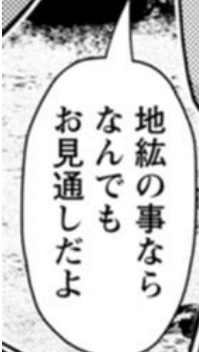
吐息恋慕

Toiki Renbo

—朝も夜もこの島で—

第2話





じ…実は
逢月ちゃんと
その…
しちゃって

え？
したって…
…エッチ？

…うん

じゃあ地紘は
逢月ちゃんとお
付き合い
するの？

俺は…俺は
日南の事が…

グイッ

痛っ！

最低な
告白すんな

ごめん…

…
それで
どんな風に
したの

そ…それは

教えて

日南の強い
瞳に負けて…

俺はあの日の事を
彼女に話した



逢月ちゃんのお言葉も！

この家以外
全部奪われ
ちゃったから

誰かから
何か奪って
みたくなったの

逢月ちゃんに
何があったの
かな

それも
気になる
けど…

逢月ちゃん
だけズルい…

え？

……私にも
してほしい

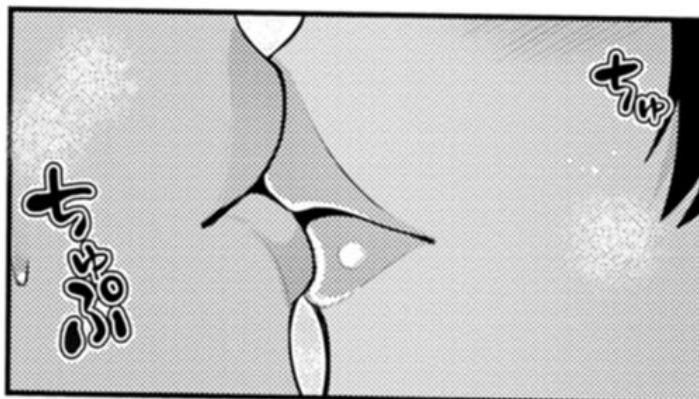
…だって
そんな嫉妬
しちゃうし

嫉妬って事は
日南も俺の事…

嫉妬してる
日南の顔…
すごく興奮する



荒い吐息の
湿気が耳の奥まで
届きそう



逢月ちゃんの
キスとは
全然違って

絡めとられる
ような情熱的な
舌遣い



どう？

はあ

おにゅ

ふわっと
してるけど
弾力があつて

はあ

しゅ



私の身体も
触って…



んっ…

しゅ



日焼けしてない
おっぱいと
ピンクの乳首が

なんだか
すごくエロくて
興奮する



でも…
私もすごく
ドキドキして…
その手で
もっと下も
触ってほしい…

なんか
すごく
変態っぽい

あつ…つ
あんっ

いやあ…♡

おち

アハハ

アハハ







今度は
私の番
だからね



お漏らし
しちゃった
みたいで
恥ずかしい…



あ…ああ
気持ちいい…

はぁ



もう
こんなに
ヨダレ垂らして

バカち○ほ…

こういう風に
されるのが
好きなの？

俺の目を見ながら
しごいてくる
その姿が

エロくて
気持ちよくて...
愛しくて

あっ！
イクからっ！
顔にかかる
から！！

いいよ
かけて♡





私にも...
して...♡



初めてだから
最初は
ゆっくりして

地紘





慣れてきたから
激しくして
いいよ…♡

あゝん

ん

アキ

あゝん
あゝん

アキ

アキ

子供の頃から
ずっと一緒だった
日南の

あゝ♡
あゝ♡
あゝ♡

おやあ
おやあ

もっと♡
ちょうだい♡

はあ

聞いた事も
ないような
メスの喘ぎ声

アッ



俺の腹の奥に
しみ込むみたいに

あーん
やあーん

アッ
アッ
アッ

お

響いて：
鼓動が激しく
なつて

あーん
やあーん

アッ
アッ
アッ





何も
我慢できなく
なっていく

ああん♡
激しいよお♡



びゅん

うんっ♡

びゅん

イクぞ
日南っ!!

びゅん

びゅん

びゅん

わたしもお♡

中に
出してえ♡

びゅん







だから私だけ
選ぶ地紘なんて
きらい

逢月ちゃんとも
向き合って

今日は
このまま歩いて
帰るから

二人幸せにする
覚悟が出来たら
教えてね

二人とも
幸せになんて

俺に
出来るのか…

END



豊色景色
TSUYAGESHIKI



幼馴染の目南めなん



何年かぶりに
再会した逢月ちゃん



いかんいかん!
仕事しなきゃ!



二人と
セックスして
しばらく経った...

あれ以来
それぞれの想いに
どう答えを出せば
いいのか分からず

仕事にも
身が入らない...

常明島町役場

荷物届けに
きましたー

ちひろ
地紘
お疲れ様

そういえば地紘は
逢月ちゃんと
仲いいんですよ？

なっ!! そ…
そうだけど
なんで？

面倒見て
あげなさいよ
あの子は一人きり
なんだから

転居届
受け取った時に
聞いたのよ

親御さん
亡くなってる
って

寂しい思い
させない
ようにね

え…
どういう事？

島 みんなが
家族みたいな
感覚の俺には

一人っきりの
心細さなんて
想像もつかない…

…俺に
出来る事…

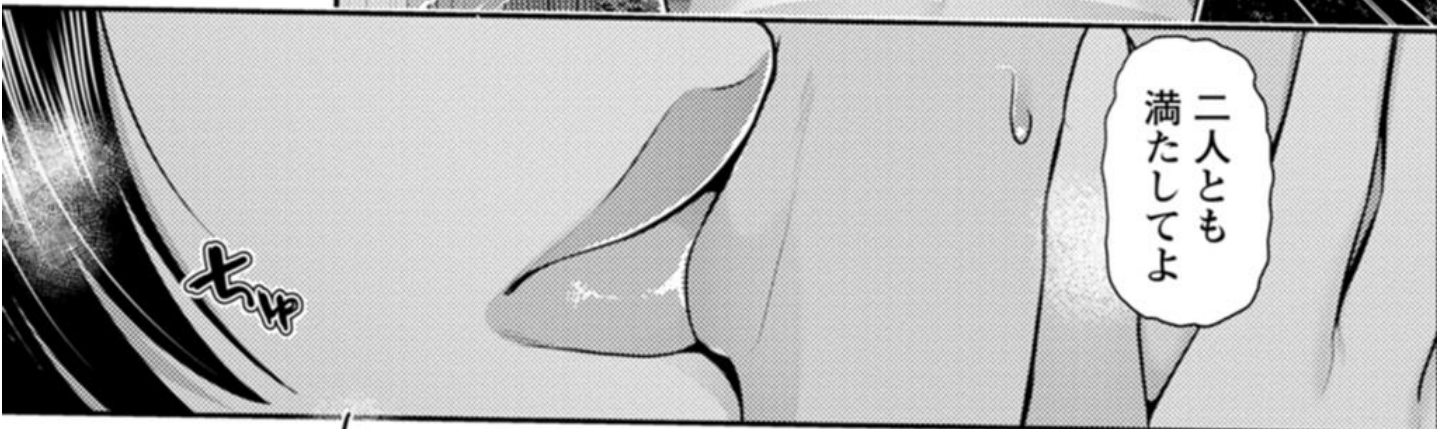


吐息恋慕

Toiki Renbo
—朝も夜もこの島で—
第3話









日南…
ちゃん…

家族になる
つもりがある
なら遠慮なんて
しないで

じゃないと
私が全部
奪っちゃうよ



私…私は…



…ずるいつ!



……
日南ちゃん
だけなんて



俺の頼みを
叶えるために

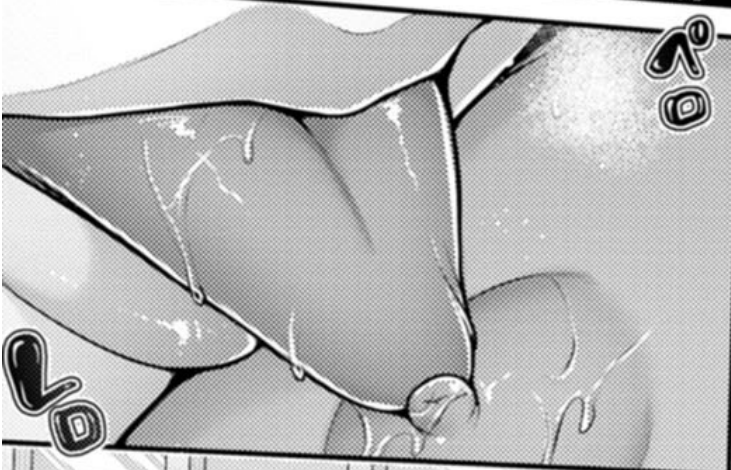
日南がわざと
逢月ちゃんを
挑発してくれた

七っく

お七



でも
そのおかげで
逢月ちゃんも



俺の我儘を
受け入れようと
必死になって
くれる...





その姿が
愛しくて
淫らで…



ねえ地紘
挿れて…



か…日南
はあ



俺はもう
我慢が
出来なかった！

ははあ
んんん

アッ

アッ

ははあ

ははあ

ははあ

ハッ

ははあ

ははあ

私にも
地紘くんの
頂戴…♡



んっ

あー

んっ

んっ

あー

んっ

あー
んっ



全てを
奪い取るような
本能だけの
セックス

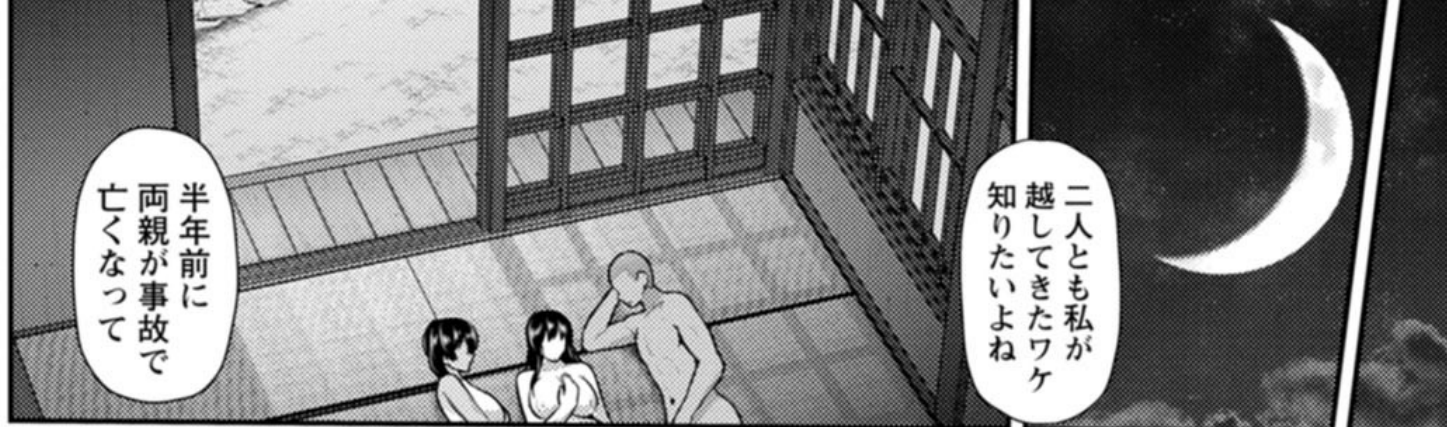




官能的
なんだっ!!







二人とも私が
越してきたワケ
知りたいよね

半年前に
両親が事故で
亡くなって



一人になった
私に叔父さんが
声をかけて
くれたんだけど

その人が
家もお金も…
何もかも
奪っていった



残ったのは
価値がないって
言われた

お祖母ちゃんの
家とほんの少しの
荷物だけ…

そんな
私を地紘くんも
日南ちゃんも

あたたかく
迎えてくれて
すごく嬉しかった

……なのに
寂しい気持ちを
埋めるために

木口

地紘くんを
いっぱい
困らせて

日南ちゃんの
事も傷つけて

木口

だから本当に
本当に……
ごめんなさい……っ

……逢月ちゃん
話してくれて
ありがとう

地紘の事と
同じくらい
逢月ちゃんの
事も大好きだよ



逢月ちゃんを
慈しみたい

日南もそう
思ったみたいだ

さつきみたいなの
奪いあつような
行為とは違つ

ひゃあ
んんん♡

せう
せう

与え合つような
セックス

ぐわ
んんん

あ
あ

あ
あ







嬉しいっ♡

はぁ

おっぱい♡
おっぱい♡

おっぱい♡

おっぱい♡

はぁ

おっぱい♡
おっぱい♡

おっぱい♡

はぁ





子供の頃の
無邪気な
言葉だったけど

この寝顔を見て
これから絶対に
叶えてみせる

『三人とも嫁にする』
なんて言っていた
子供の頃の約束



幸せに
してみせると
強く心に誓った…



数年後

今日も
暑いねえ

このしまは
いつもホカホカ
だもんね！

それにしても
二人とも本当に
お母さんそっくり



きっと
美人になるねえ

いつも重い荷物
持ってくれて
ありがとうねえ

いいんだ！
だって



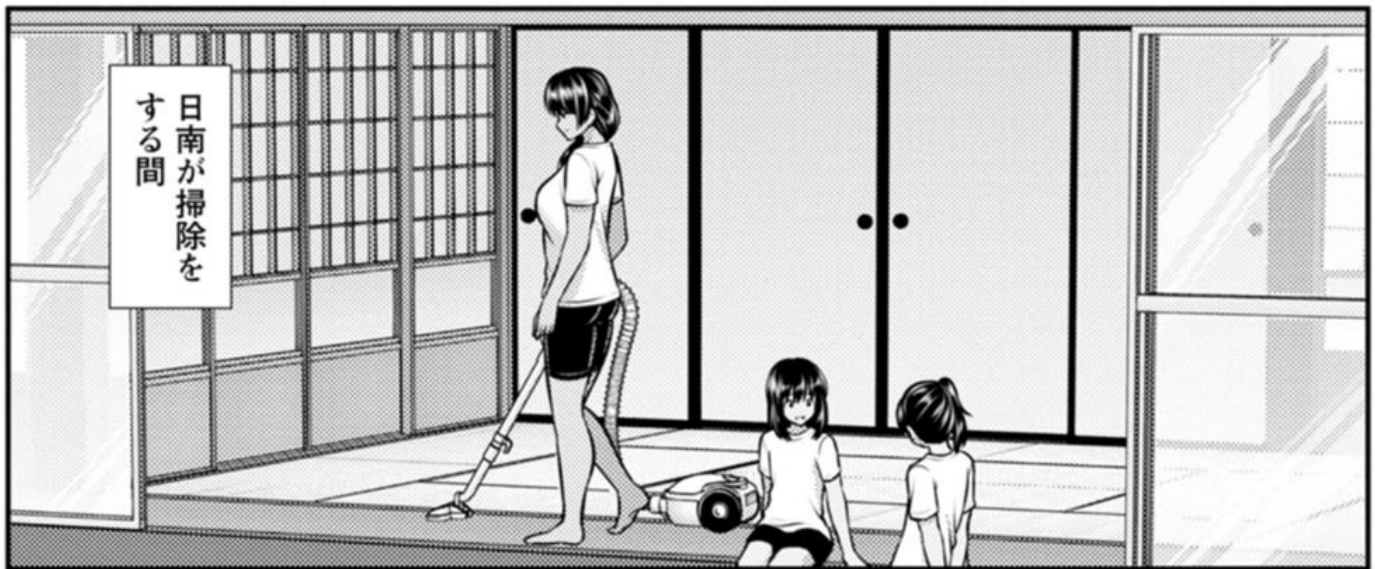
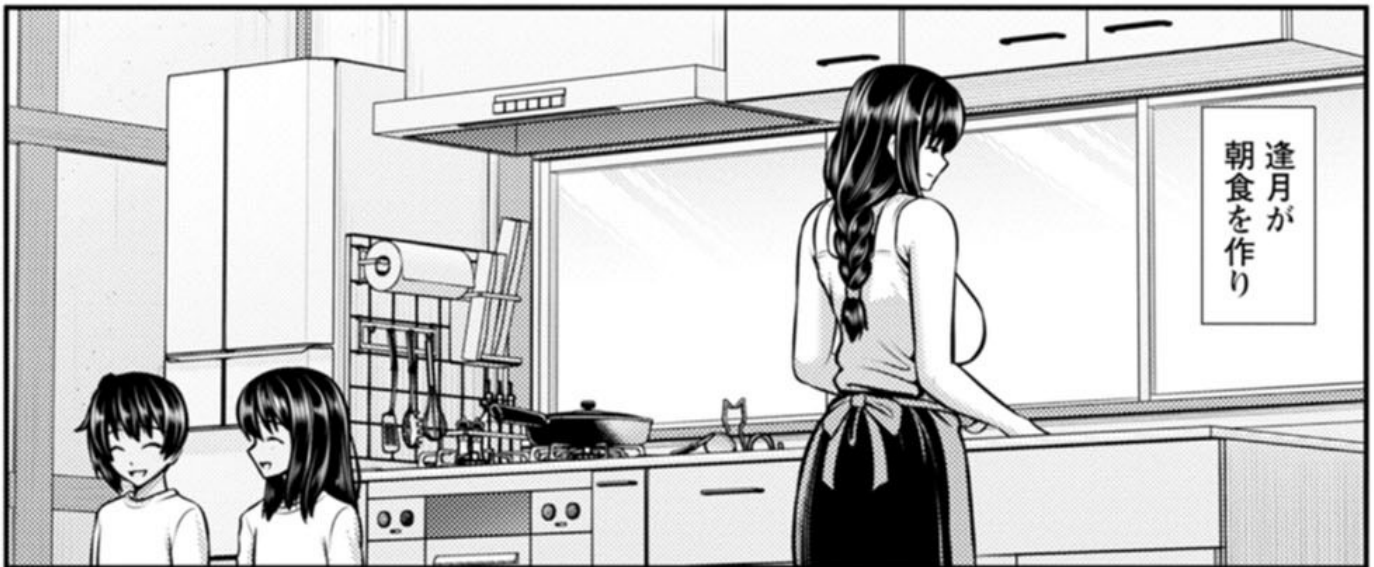
とうみんは
みんなかぞく

こまったときは
たすけあい

とうちゃんと
かあちゃんたちの
くちぐせだから！

END

朝の家族の過ごし方



巻中ではありますが「艶景色」をお読みくださってありがとうございます。
皆様にもまた単行本をお届けする事が出来てとってもうれしい限りです。

今回収録の艶景色シリーズは春夏秋冬、吐息恋慕は朝夜をテーマに描いてみました。
移り行く景色の中でのそれぞれの情事…
インモラルな雰囲気と共に、季節や島の空気感も楽しんで頂けたら幸いです。

そして最後に前単行本「不倫旅行」から澤が再登場となります。
プロットを読んだ編集のかもていさんから提案頂いて
制作した見開きカットが目を引きつつとってもエロスな作品に
仕上がっております。

馬鹿遊

こうして単行本を出す事が出来るのも読者の皆様をはじめとした沢山の方のおかげです。
本当にありがとうございます。これからも頑張るのでどうか応援の程よろしくお願いします！

豊色景色
TSUYAGESHIKI



既婚者の
桂治さんと関係を
持つてから三年…



私達は沢山旅行をして
沢山の景色を観てきた



そして
彼の転勤で顔を
合わせなくなつて
二ヵ月…

またあの頃みたいに
二人で…そう昂る
気持ちを抑えながら

私は今日
桂治さんに会うため
この町へ来た



不倫旅行

— 滯 After story —

Immorality travels







…それじゃあ
家に行こうか

この二か月
本当に長くて

とっても
寂しかった…

私もだよ…

はあ

久しぶりに
会えると
思ったら

ずっと身体が
火照って…もう
我慢出来ません

はろろろ

どろん

どろん

ブル



こんな冴えない
中年で本当に
いいのかい？

貴方じゃ
なきやイヤ

ああ

ぐわ

ぐわ
ぐわ
ぐわ

はあ

は

ぐわ

ぐわ
ぐわ

ぐわ
ぐわ
ぐわ



私には
桂治さんだけが
全てだから...

だから私を
離さないでっ





一緒の時間を
過ごせる事が…







一生懸命な
その姿から

それが
いつも以上に
愛おしくて...

あぁん

あぁん

あぁん

あぁん

あぁん

あぁん



おちゅ

せーな

おちゅ

あーん♡♡♡
あーん♡♡♡
あーん♡♡♡

おちゅ

おちゅ

おちゅ

私の心も身体も
このお湯に溶けて

おちゅ

桂治さんと
溶け合って

おちゅ



転勤が
決まった時

私のような
おじさんは

滞りに
捨てられると
思っていたんだ



だから滞りが今日
来てくれた事が
本当に嬉しくて



桂治さんが
私に優しくして
くれた日々



それはずっと
私の宝物
捨てたりなんて
しません



ずっと一緒に
いたらどんなに
嬉しいか…

滞…

激しくして…

アハハ

アハハ

アハハ

あはは♡
あはは♡

おめめ



お風呂

あーん
あーん

お風呂

お風呂

たーん

いっぱい
満たしてえ♡

お風呂



はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

あぁ♡
いぁ♡
うぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

離れたくないな...



★この作品は『エンジェル倶楽部』22年7月号～24年4月号に掲載されたものです。

とうちゃん
かあちゃん
いつてくるね！

二人が親元を
離れる日が
来るなんて

一晚
お父さん達が
預かってくれる
だけでしょ…

ぐす…

地紘くん
涙脆くなった
よね

ウル

娘の成長に
感動していたら

三人で夜を
過ごすなんて
久しぶりね

今夜は寝かせ
ないからね

後ろの二人は
そんな事より
欲情していた

コミックス特別
描き下ろし漫画





翌朝

爺ちゃん家は
楽しかったか？

うん！

はやく
きょうだい
ほしいねー

へ？

島の時間は
ゆっくり流れてると
思っていたけど

おとうとが
いいなー！

娘達の
成長の早さに
驚かされる
ばかりだ…

END

跳

今年はさらにエロさを
跳ね上げていきたい
所存でございます。

この三年の抱負

外からはセミの
鳴き声が聞こえる
ムワツと湿度の高い部屋

しゅるしゅる
と帯を解く音

ふうふうという
暑さからではない
吐息

畳を擦る浴衣の
スルンという音

微音の一つ一つが
これから始まる行為への
臨場感を昂ぶらせる

とっておきの擬音
おん
靡音

エンジェル倶楽部
イラスト&フリートークより

2024年の抱負

自己管理を
しつかりと

やりたい事が多すぎて
時間が足りない事を
実感する日々...

体調やお仕事をしつかり
管理して今年は使える
時間を増やしていきたい
と思っています。

射精管理まで
私にさせるつもり
ですか♥

こんな感じで
美人秘書に全部管理
してもらえたら
いいのかなあ...

エンジェル倶楽部
イラスト&フリートークより

テーマ

全部話してしまう
エッチな拷問

やめてえ
もう全部
言うからあ♡

っというか
もうっ！もう
イってるっばあ♡

王道だけど
女スパイが拘束されて
エッチな拷問受ける
シチュが好き♡

エンジェル倶楽部
イラスト&フリートークより

作品解説

【艶景色 ～交わる夏夜～】

海の家店主「百瀬 佑衣子」

夏は海の家、それ以外の季節は居酒屋や農業を手伝いつつ一人暮らしをしています。大学生の匠はいずれはそんな佑衣子と一緒に住みたいと思っていますが、佑衣子は匠を愛していつつも、叔母と甥の関係という事もある。いずれは自分から巣立ってほしいという気持ちも持っています。叔母でありながら、親のような恋人のような気持ちを抱える佑衣子。複雑です。

こぼれ話：

旅好きの友人が旅先の伊豆から送って来た、海に面した露天風呂の写真を見た瞬間にストーリーを思いつきました。
綺麗な景色を見た瞬間にエロが映えそうか考える自分の脳内。こわい。

【艶景色 ～深雪にとける想い～&～結城文葉の妄想の世界～】

官能文学少女「結城 文葉」

官能小説家に憧れつつも、親に小遣いの管理もされているほど厳しい家庭の為、自費で官能小説を買う事が出来なかった文葉は、図書館に小説を求めてやってきました。

しかし図書棚に官能小説はなく、恥ずかしさと緊張で赤面しつつ貸出希望用紙を司書に渡した文葉。後日、司書が希望した官能小説を渡してくれた時、司書の表情や仕草で自費で買ってくれた事に文葉は気づきました。自分の官能小説家になりたいという想いに真摯に対応してくれた司書に恋心を抱いた文葉は、それ以来自分と司書を作中のカップルに投影して小説を読んだり書いたりしています。

こぼれ話：

エンクラの表紙にもなった文葉が温泉でセックスしているカラーイラストは文葉が読んでいた「湯煙の中で貴方と融ける」の表紙を見た文葉が自分の姿をその表紙に投影した妄想というテーマだったのですが、単行本の差し込みカットでその小説の表紙を描いてやっとな設定回収できました。

【艶景色 ～初めての露出は早春に～】

金髪蒼眼の白人美女「ミア レイエス」

SNSで見た日本の景色に憧れて来日したミアですが旅先でホテルの予約が取れず困っていた所を桐矢に助けられたのが縁で二人の交際は始まりました。

露出行為というこれ以上ない刺激的なアクティビティに出会い新たな旅の楽しみに目覚めた二人。この旅の終わる頃のミアはもっと過激な事をしたいという妄想でいっぱいでした。次はどんな場所でどんな行為を行うのか、いずれ描いてみたいと思っています。

こぼれ話：

「艶景色 ～初めての露出は早春に～」と「艶景色 ～滴る雨雫～」は単行本掲載順だと四作目と五作目ですが、雑誌掲載順だと「滴る雨雫」が一作目で「初めての露出は早春に」が五作目です。艶景色シリーズ自体が季節を巡るような構成だったので、単行本掲載時に順番がずれても違和感なく季節が一巡するような作りになっているのはちょっとしたコダワリです。

作品解説

【艶景色 ～滴る雨雫～】

元女優「小清水 悠乃」

艶景色シリーズの雑誌掲載順一作目の物語です。

女優としての節目を大好きだった人にカメラに残してほしい、女優という仮面を脱いだ姿を目に焼き付けてほしいという想いで撮影に臨んだ彼女。撮影が終わる時には悔いなく気持ちを整理できました。

最後のページで悠乃が日焼けしているのは、カメラアシスタントとして陽光にあたるようになったのもありますが新しい生き方を受け入れた証のような感じです。

こぼれ話：

艶景色シリーズの雑誌掲載順二作目の「交わる夏夜」に繋がるように最終ページを海の見える場所にしましたが、単行本で読むと偶然にも「吐息恋慕」の舞台に繋がるような終わりになっています。綺麗に次話に引き継がれるような構成が決まると気持ちがいいですね。

【吐息恋慕 ～朝も夜もこの島で～】

外から来た色白美女「七瀬 逢月」

褐色の健康的な島女「志水 日南」

一緒に生きていく事を決め逢月の家で共同生活を始めた三人。

日南の家に報告に行った地紘は、日南の父親にボコボコにされてしまいましたがそれでも決意は変わらず頭を下げる姿に渋々認めてもらいました。

そんな一連の騒動も含めて島民は島に活気が沸いたと三人を祝っており、子供が生まれた後は島中が家族として子育てを手伝ってくれています。ちなみに日本は重婚禁止なので三人は籍はいれていませんが、実質一夫多妻な関係。羨ましいです。

こぼれ話：

本編ではいらない情報だったので省いたのですが逢月の職業は「夢野霧華」というペンネームの小説家です。逢月の描いた官能小説を、図書館で読んでいた文葉。

世界中から孤立したような気分になった時でもどこかで誰かと何かしらで繋がっていて、知らない間に影響を与えている…。人生ってそんな事があるから楽しいなと思います。

【不倫旅行 ～滞 After story～】

単行本「不倫旅行」にも登場した滞と桂治。

「不倫旅行」に掲載されていた時の二人のサブテーマは

“一度目の不倫旅行”だったのですが、あれから二年経過した二人のアンサーストーリーとして“不倫旅行の行く末”をテーマに描かせて頂きました。

見た目が地味な感じの二人なのもあって、時間が経過してもあまり容姿や服装に大きな変化はないだろうと思ったのですが唯一の変化として滞が剃毛してるという部分に二人のフェチズムを感じてもらえたら嬉しいです。

こぼれ話：

本作の見開きカットは編集さんからの提案で描かせて頂いたのですが、背景をメインにしたカットを描いても良いんだという嬉しさもあって気合がノリに乗って資料写真を撮りに東京から始発の電車に乗って飛騨まで日帰りで行ってきました。景色も綺麗でお蕎麦も美味、最高の取材旅行でした。

カバー折返し・1



カバー・表



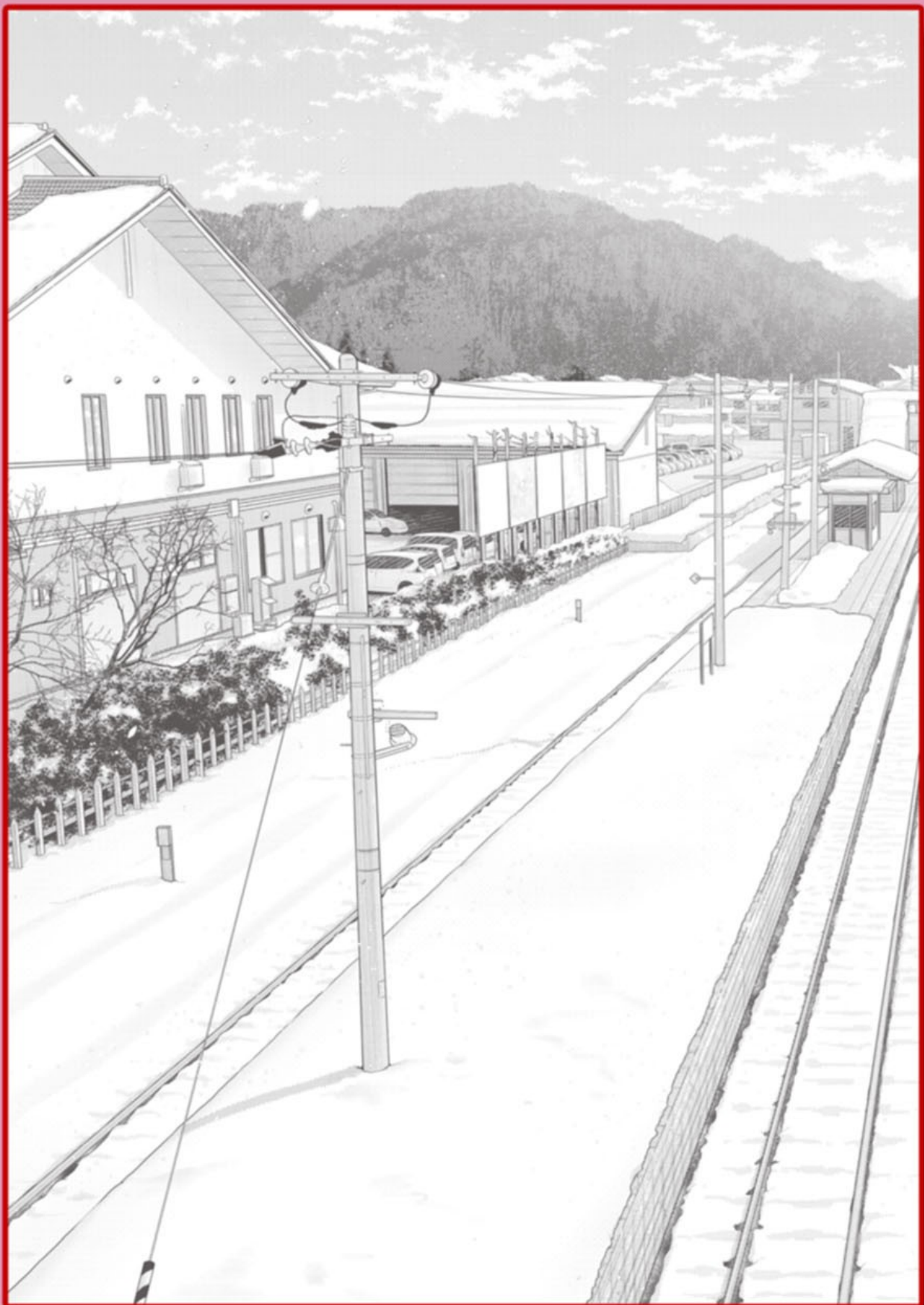
カバー・裏＋背表紙



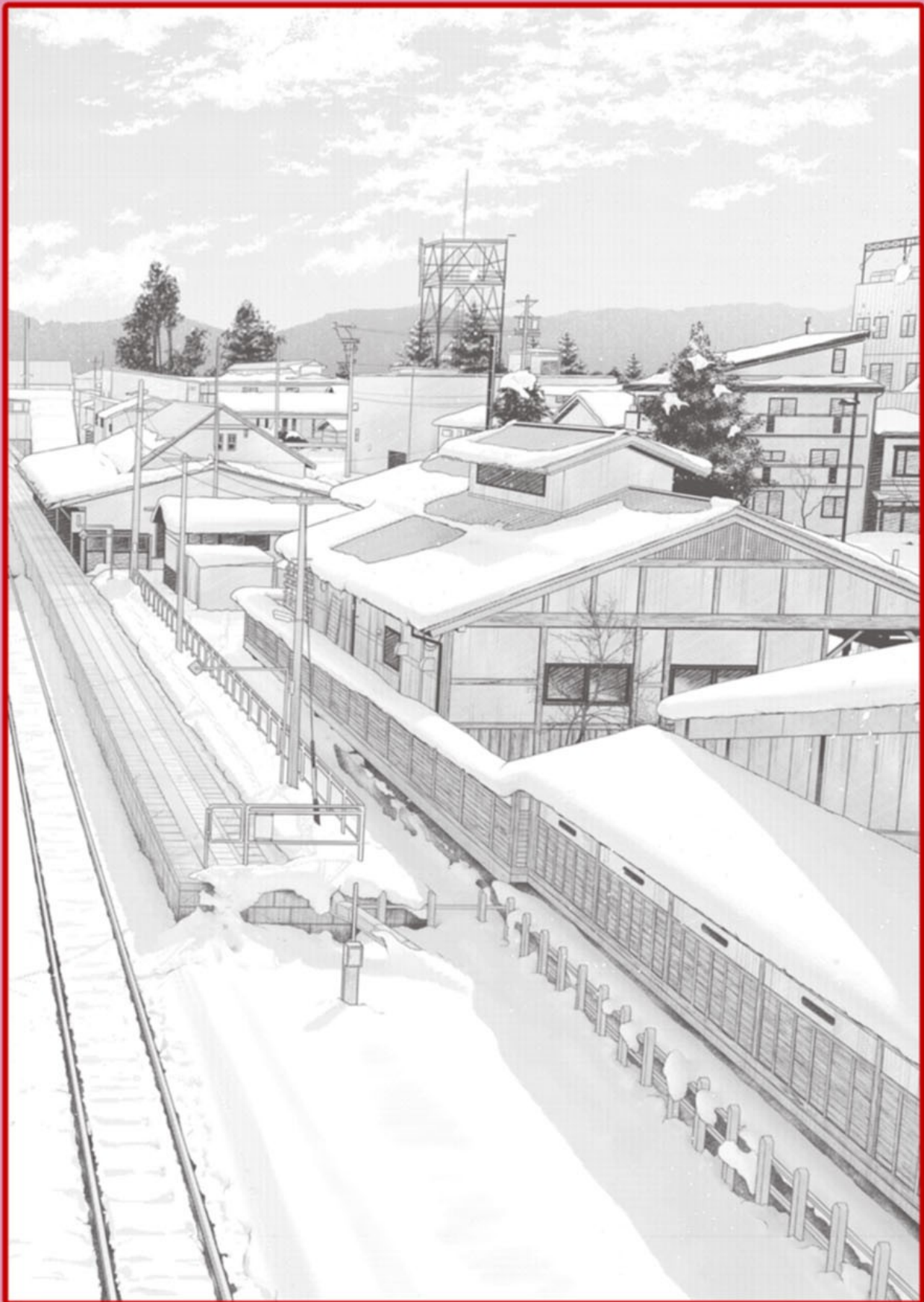
カバー折返し・2



表紙・表



表紙・裏





エンジェルコミックス

つや げ し き

艶景色

2024年5月16日 第1刷発行

と ば ゆ う が
著者◎●跳馬遊鹿

発行者◎庄盛克也

印刷所◎三晃印刷株式会社

発行所◎株式会社エンジェル出版

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町3-28

電話[編集]03-5261-4873 [営業]03-5261-4860

装幀◎古谷昌博(神楽坂マガジン社)

装画◎跳馬遊鹿

編集◎嘉本眞輝

落丁・乱丁の場合は本社にてお取り替えいたします。

●定価はカバーに表示してあります。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

©Toba Yuga 2022 Printed in Japan.

ISBN978-4-86772-089-9 C9979